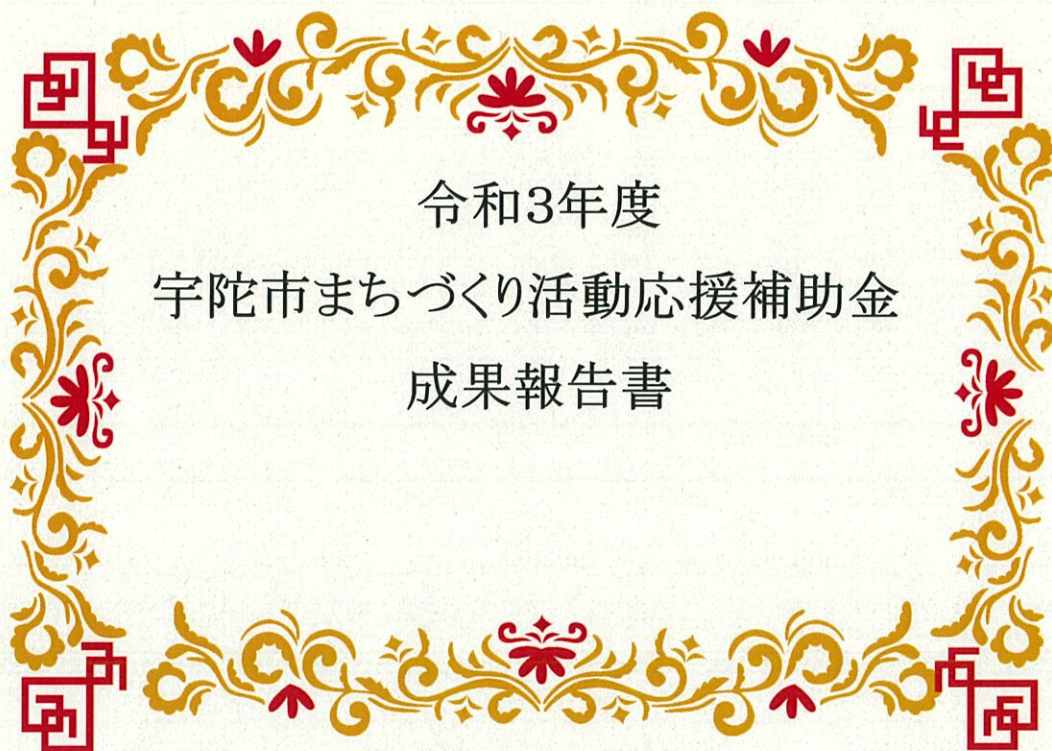




令和3年度
宇陀市まちづくり活動応援補助金
成果報告書



宇陀市市長公室地域振興課

令和4年10月

目 次

「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要	1
補助金の額	1
審査・評価の方法	1
審査委員	1

各事業の成果 ※以下事業名()内は実施団体名

(1) 宇陀の歴史再発見 ～縄文時代から古墳時代まで～ (宇陀市の神話と歴史を考える会)	2
(2) 室生原山にぎわいの拠点づくり事業 (三郎岳景観石仏群保存会)	3
(3) 大和宇陀ワクワク体験プロジェクト (ゆたかな宇陀)	4
(4) ㊦一魂心会による室生活活性化計画！室生寺もみじ祭りに於ける「お客様に対するおもてなし」 (㊦一魂心会)	5
(5) 空き家改修の民家を利用した市民による市民の為の市民文化講座 (にっこり)	6
(6) 地域と創る宇陀の魅力事業 (紀伊半島交流会議伊勢街道分科会)	7
(7) 三本松地区まるまマルベリー計画 (一般社団法人クオリティオブライフSANKI)	8
(8) うだ子ども能楽教室 (うだ子ども能楽教室)	9
(9) 芳野城を中核にした地域活性化事業(芳野城夢プラン) (芳野城を守る会)	10

「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要

この補助金は、市民が主役のまちづくり並びに地域の個性を生かしたまちづくりを推進し、市の発展に寄与することを目的として、市内で活動する市民団体が自ら企画立案し、実施する事業に要する経費を補助することにより、市民活動の促進を図ろうとするものです。補助対象事業は公募方式により募集し、第三者機関(宇陀市まちづくり活動応援補助金審査委員会)による厳正な審査を経て決定します。

補助金の額

補助金の額は、補助の対象となる経費の総額から当該事業の実施によって得られる収入を差し引いた額とし、50万円を上限とします。事業が継続して必要と認められる場合は、自立・発展性の観点から2年目は40万円を上限とし、3年目は30万円を上限とします。ただし、算出した額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとします。

審査・評価の方法

①一次審査(書類審査)

補助金の対象事業として要件を満たしているか等の審査を行います。

②二次審査(公開プレゼンテーション)

以下の基準に基づき審査し、交付の優先順位を決定します。

新規性	・事業内容に新しい発想、アイデアがあるか。
	・自主性をもった企画・運営となっているか。
	・地域活動支援の目的と合致しているか。
公益性	・事業の成果が広く地域に還元されるものか。
	・事業参加の機会が広く住民に与えられているか。
	・市の施策と方向性が合致しているか。
	・応募者以外の市民や事業者、団体等に不利益を与えるものではないか。
必要性	・地域の実情や住民要望に対応したものか。
	・地域の課題解決、あるいは活力向上に有効なものであるか。
	・ほかの方法で代替できないものであるか。
	・経費の使途が適切なものか。
実現性	・目標(達成すべきこと)が明確なものか。
	・関係者との合意形成や応募団体等の内部での実施態勢が整っているか。
	・資金調達の規模や時期に無理はないか。
発展性	・市の支援が終了した後の継続性や自立性、発展性は期待できるか。

審査委員

氏名	所属・職
仲浦 美好	宇陀市食生活改善推進協議会会長
新 元秀	公募委員
竹内 和代	公募委員
山田 和宏	奈良県くらし創造部青少年・社会活動推進課
鴻池 昭英	宇陀市役所 副市長

※審査委員会(令和4年10月15日)現在

宇陀の歴史再発見(縄文時代から古墳時代まで) 【継続3年目】

補助金額
250,000円

宇陀市の神話と歴史を考える会

補助事業の実施内容

縄文時代の宇陀に我々の先祖が生活していた証の石棒、国指定の史跡見田大澤古墳群・小宮谷1号墳出土品の里帰り展示を実施して、わが故郷の古代歴史を学ぶことができた。

令和3年9月4日(土)講演内容。

第1部 橿原考古学研究所の米川仁一氏による分かりやすく時を忘れるほどの説明がありました。

第2部 3カ所からの出土遺物と直近に発掘された不動塚古墳の遺物展示。

第3部 古宮谷古墳1号墳の現地説明会。

多くの参加者からの質問に対して米川氏は丁寧に説明していただきました。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

講演チラシを広報誌に添付し市内全戸に配布しました。古代史に関心を持った人が多く定員を超える応募をいただき、市内外、県外からも問い合わせがありました。参加者からのアンケートでは好評な意見が多く見られ歴史に関心があったと思われます。

小さな団体に橿原考古学研究所より多大なる協力を得たことで実現できたと考えます。今後も続けて行きたいです。

名 称	宇陀市の神話と歴史を考える会
所在地	宇陀市菟田野佐倉408番地
設立の経緯・目的	宇陀市に伝わる記紀万葉発祥地から、神武天皇や市を代表する宇太水分神社、阿紀神社、墨坂神社、室生寺など多くの神社仏閣が建立されており、数々の民話や伝説が残っている。こうした歴史的文化を探究することで宇陀市のまちづくりに寄与する事を目的とする。
主な活動内容	1. 宇陀の歴史探訪を行い、歴史文化についての研究を行う。 2. 三重県大紀町錦と広域交流事業に互いに協力し合い、研鑽に励む。 3. 平成29年10月14日「戦国の群像 宇陀三将サミット」を開催する。 4. 芳野城を守り会、六孫王の五輪塔を守る会も発足。

室生原山にぎわいの拠点づくり事業 【継続3年目】

補助金額
200,000円

三郎岳景観石仏群保存会

補助事業の実施内容

1. 観光に関する事業
 - (1) 三郎岳登山道整備事業
 - ・登山道全体の点検整備。
 - ・見晴台付近に石楠花の植栽及び鹿よけ対策。
 - ・見晴台残木整理 ・水源地整備と清掃。
 - (2) 伊勢本街道接続道整備事業
 - ・集落から伊勢本街道へ繋ぐ道路の整備。
2. 地域景観の保存と文化遺産の保存・伝承に関する事業
 - ・三郎岳登山道から石仏群に至る道と周辺整備を行う。
 - ・石仏群危険個所の立て看板の設置(進入禁止)(火気厳禁)。
 - ・三郎岳石仏群・原山案内パンフレット作製。
3. 交流の拠点づくりに関する事業
 - ・石仏群を巡るイベントの開催。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

3年かけて三郎岳登山道を整備しているが、まだまだ整備する箇所も多く、これからも点検と整備を継続していく。整備することで、ハイカーや地域の方が安全に登山を楽しんでくれている姿が見受けられ、継続しての事業の必要性を改めて感じた。今後は高齢者の引きこもり防止や安否確認、住民との交流などコロナの状況を見ながら定期的開催していきたい。

事業実施団体

名 称	三郎岳景観石仏群保存会
所在地	宇陀市室生下田口752番地
設立の経緯・目的	平成30年2月に設立。地域の景観保全や文化遺産の保存・伝承、住民の交流、空き家対策などをおして、地域の活性化へ繋げることを目的にしている。
主な活動内容	1. 地域活性化会議の開催。 2. 地域環境の保全と文化遺産の保存・伝承。 3. 交流の拠点づくり。 4. 空き家対策。 5. 住民への声かけ運動。 6. 伊勢本街道を通るハイカーの道案内など。

大和宇陀ワクワク体験プロジェクト【新規】

補助金額
500,000円

ゆたかな宇陀

補助事業の実施内容

- 体験プログラムの実施
(1) 新米と秋の収穫体験(菟田野芳野地区) 令和3年9月12日。
(2) 宝石探しと陶芸体験(室生地区) 令和3年11月21日、12月12日。
- 関係人口勉強会&交流会の実施
第1回目「奈の音」前由美子さん 令和3年12月14日、第2回目入江透さん 令和4年1月30日、第3回目「いろいろ屋すずき」鈴木聖史さん 令和4年2月26日、第4回目キズノヒト田島浩樹さん 令和4年3月26日。
- 連携団体との体験プログラムの実施
(1) 一般社団法人大和飛鳥ニューツーリズム 神戸市内の中学生の読経・写経体験(令和3年11月15日)。(2) ふるさとシェアリング株式会社 農業体験。
- 広報活動 ゆたかな宇陀新聞 2022年春号の発行 5,000部。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

宇陀市外の方と体験プログラムを通じて関係性を深めるという当初の目的は、リピートで参加する市外の方がおられたようにコロナ禍で人の往来が厳しい中ではあったが達成できた。また、地元住民と移住者の交流の機会もあり、相互理解が深まった。大きいイベントではなく小規模の体験プログラムだからこそできる交流ができたので、次年度以降仲間作りを進めたい。

事業実施団体

名 称	ゆたかな宇陀
所在地	宇陀市大宇陀大東45番地
設立の経緯・目的	会員の多くがコロナ禍になる前に宇陀で修学旅行生の民家ステイを受け入れていた。「聞いたことはすぐ忘れる。見たことは少し覚えている。体験したことは一生忘れない。」という言葉があるように、学生さんに限らず多くの市外の人に、輝く歴史と豊かな文化のある宇陀のこの地域で体験プログラムを通じて宇陀ファンになってもらいた。
主な活動内容	・体験プログラムを開発し、市外の人に宇陀の魅力や良さを知ってもらい再度宇陀を訪れてもらうきっかけを作る。 ・SNSやホームページを活用し、離れているいてもつながりが途絶えない関係性を構築する。 ・高齢者の技能や技術、地域の言い伝えなど後世に継承しないといけな情報を取集する。 ・地域の青少年に地域の根ざした勤労観・郷土愛を育む体験プログラムを提供する。 ・通販サイト立ち上げ、都市との経済的な循環を作る。 ・移住や2拠点生活の相談窓口となる。

ハ一魂心会による室生活活性化計画！室生寺もみじ祭りに於ける『お客様に対するおもてなし』【継続3年目】

補助金額
300,000円

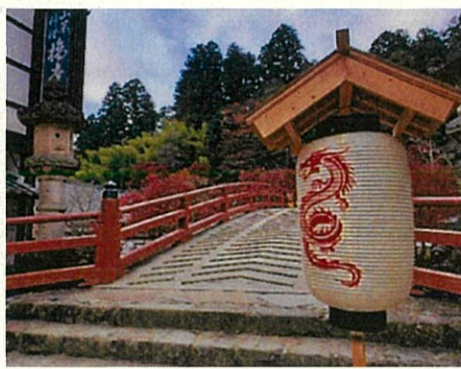
ハ一魂心会
(べんいちこんしんかい)

補助事業の実施内容

室生寺紅葉ライトアップ。参拝者を対象に太鼓橋を中心に提灯を設置。

1. 太鼓橋中央に龍頭の設置。
2. 太鼓橋前に龍イラスト提灯設置。
3. 室生寺境内に青龍の設置。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

(提灯の効果)

龍頭の提灯を太鼓橋上に設置し、太鼓橋周辺の灯り増し安全面が向上した。

(ライトアップの効果)

龍頭のライトアップは、お客様の高揚感を高め反響も良く、写真スポットとなり多くのSNSで発信された。

事業実施団体

名 称	ハ一魂心会(べんいちこんしんかい)
所在地	宇陀市室生78番地
設立の経緯・目的	室生のこれからの世代の者や、室生寺の若手僧侶で設立。 室生地域の発展や活性化、室生寺の賑わいを少しでも取り戻したく設立。
主な活動内容	コンサルタントを踏まえた会議。 室生寺前バス停を建築(予定)。

空き家改修の民家を利用した市民による市民の 為の市民文化講座 【継続3年目】

補助金額
250,000円

にっこり

補助事業の実施内容

コロナ禍で、改修した町屋での開催が困難のため、大正琴の教室はライブとなるためにすべて中止としました。また、料理教室と和菓子教室も3蜜を避けるために中止としました。しかし、茶道教室は、元々沈黙傾向の市民講座であったので、アクリル板を設置して人数制限をしておけることが出来た。また広い小学校の家庭科室や体育館の会議室などを借用して、「親子寺子屋」「教育心理学教室」「かんたん筆ペン教室」「簿記体験教室」などの多彩な市民講座を開催することが出来た。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

コロナ禍ではあったが、出来る市民講座は、次々と出てきた。参加した方は満足していただいたと思うが、他にもたくさんのニーズがあるのだが、残念なことに指導者が不足していたために、日曜に習字教室を開いて欲しい方がたくさんいた。今後は定年退職者の会などを結成して、資格や経験を活かせる生き甲斐の場所を提供して、無料で有益な市民講座が受けられる仕組み作りが必要である。

名称	にっこり
所在地	宇陀市大宇陀下本2175番地
設立の経緯・目的	宇陀松山初えびすを下本自治会が、永年続けてきたが、高齢化と過疎の為存続不可能となり、商工会青年部に委託したが、その青年部も後継者不足から継続が困難となってきた。商工会青年部を支援する団体として有志が集まって「にっこり会」を発足した。宇陀松山重伝地区の町並み保全を含む活動となり今日では、活き活きとしたまちづくりを目的として活動している。
主な活動内容	1. 宇陀松山初えびすの実行委員会に加わって、中心的な活動。 2. 町並み保全につながる市民講座の開催。 3. 宇陀松山住民の意識調査の実施。 4. 奈良県文化財課との連携事業。 5. 早稲田大学社会科学部卯月盛夫研究室との連携事業。 6. 住民の親切とおもてなしの心を育てる葉ボタンの栽培と配布。 7. UDA寺子屋さんとのアクティブラーニングの連携事業。 8. 多世代交流の場づくりの推進。 9. 空き家コンシェルジュ。 10. はならあと実行委員会との連携事業。 11. ライトアップ事業との連携事業。 12. 大宇陀夏まつり実行委員会との連携事業。

地域と創る宇陀の魅力事業 【新規】

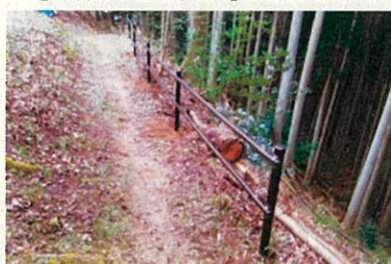
補助金額
400,000円

紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会

補助事業の実施内容

1. 吉田初三郎「神武聖跡御図絵」パンフレット制作2,000部 宇陀松山まちづくり協議会と協働。
2. 平井大師山草刈り作業に協力・意見交換会 平井自治会と協働。
3. 伊勢本街道ウォーキングマップ制作 2,000部 歴史街道推進協議会と協働。
4. 「宇陀の松山」復刻地図製作100部・販売30部 宇陀松山夢街道実行委員会より引継ぎ。
5. 「水が育んだ宇陀松山のまち」ウォーク 20名参加 芳野ビジターズビューローに協力。
6. 平井大師山ライトアップ用建替え作業 15本 大師管理委員会と協働。
7. 平井大師山手摺設置作業 12m 大師管理委員会へ委託。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

パンフレットやマップを協働して印刷することで費用を抑え、関係する地域や学校、団体に予定数を超えて配布することができました。これらの成果物や復刻した昭和8年の松山町の地図を手がかりに各地で地域の歴史や文化を知り、様々な宇陀の誇りが芽生えることを期待しています。

予定していたウォークイベントは新型コロナの感染拡大のため機会を逸してしまいましたが、引き続き地域の方々との対話を深めて、ウィズコロナを見据えた「マイクロツーリズム」のモデルづくりをめざします。

事業実施団体

名称	紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会
所在地	宇陀市大宇陀上新1925番地
設立の経緯・目的	「紀伊半島交流会議」は「吉野・熊野の霊場と参詣道」の世界遺産登録を見据えて平成16年3月末に歴史街道推進協議会の呼びかけで結成されました。その中で「伊勢街道分科会」は伊勢街道沿いの歴史や文化にふれ、そこに住む人々との交流を深めて、伊勢街道を軸としたネットワークの構築を目的として、宇陀市を中心に伊勢街道沿いで活動する人々に呼びかけて結成しました。
主な活動内容	主な活動としては、。古道を歩き、道標や常夜燈、宿場町等の歴史的資産の調査し、その情報を発信するためにウォーキングイベントを開催しています。平成19年からは風景街道「伊勢街道」連絡協議会において中心的な役割を担い、フォーラムの開催やマップの作成をはじめ、地域の団体と共に古道の復興や道標の再建など、街道の歴史的資産の保全活動を進めています。

三本松地区まるままマルベリー計画 【新規】

補助金額
500,000円

一般社団法人クオリティオブライフSANKI

補助事業の実施内容

補助金決定後に地主様、自治会会員様の協力を得ることができました。

- ・マルベリーを植樹する休耕田の下草刈りから植樹の準備を始めました。
- ・室生こども園にマルベリーの寄贈植樹ができ、食育、農育につながるスタートをすることができました。
- ・生産地害獣対策作業 獣害防止に必要な柵を畑の周囲に設置しました。
- ・マルベリー苗植樹 秋苗300本、春苗13本植樹しました。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

- ・自治会の協力を得て休耕作地の募集をし地主様のご理解ご協力により生産地の確保が出来た。
- ・植樹作業と室生こども園の寄贈植樹の様子がメディアネット宇陀で放映されたことによる活動の拡散が出来た。
- ・来年度はマルベリーの生産管理に移りますが管理体制の準備が必要。

事業実施団体

名 称	一般社団法人クオリティオブライフSANKI
所在地	宇陀市室生三本松3933番地
設立の経緯・目的	三本松地区の少子高齢化により自治運営の弱体化を感じ地域振興及び活性化を目的とし地元消防団として自治運営に協力してきた会員で構成された法人です。
主な活動内容	・消防団として自治運営に協力。 ・地域環境整備。 ・ふれあい運動会運営協力。 ・ふれあい夏祭り運営協力。 ・廃品回収、自治防災協力。

補助事業の実施内容

- ・プロの能楽師から能楽の手ほどきを受けることにより子どもたちの心を豊かにする他、能楽を通じて正しい礼儀作法を身に付けることができる。
- ・月に2回程度実施しているが感染対策のため9月と2月の1回は自宅練習とした。
- ・参加者14名(大宇陀小学校8名、菟田野小学校3名、榛原東小学校2名、室生中学校1名)。

【事業実施の様子】

9月より、第3期の稽古が始まりました



「お稽古」とは
「能の歴史」は
「あいさつ」とは
ひとつ一つ、おそわります。
「よろしくお願ひします」
「ありがとうございました」の心をこめて



初めて、お稽古をする第3期生の子供たち



能を習えらるなど、礼儀作法を身にこけてます



補助事業の成果と今後の活動に向けて

- ・稽古始め終わりの挨拶、正座、扇子の扱い方などの基本を身につけることができた。
- ・「老松」など数曲の謡や仕舞ができるようになった。
- ・伝統文化にふれ、その良さを知ることができた。
- ・目標に向かって努力するという経験を積むことが子どもの生活で活かされている。

事業実施団体

名 称	うだ子ども能楽教室
所在地	宇陀市大宇陀調子329番地
設立の経緯・目的	○伝統文化の能楽をプロの能楽師から手ほどきを受けることにより、子どもたちの心を豊かにする。また、能楽を通じて正しい礼儀作法を身につけることが出来る。 ○「あきの蛍能」等での発表を通じて郷土に愛着を持ち、日本の伝統文化に関心を持つ子どもに育てる。
主な活動内容	○観世流能楽師による能楽の指導。 月2回程度実施。 ○稽古の成果を「あきの蛍能」等で発表する。 ○県内の子ども能楽教室と交流する。

芳野城を中核にした地域活性化事業 (芳野城夢プラン) 【2年目】

補助金額
400,000円

芳野城を守る会

補助事業の実施内容

第1回役員会 芳野城の道の整備と案内板の設置について協議。
第1回奉仕作業 案内板の設置。
第2回役員会 芳野城の道の整備について 芳野城完成式典について。
第2回奉仕作業 芳野城の道の整備。
第3回奉仕作業 芳野城の道の整備と清掃。
総会。

【事業実施の様子】



補助事業の成果と今後の活動に向けて

芳野城を整備したことや頂上付近を整備したことにより、以前よりたくさんの方が芳野城に訪れるようになった。また、小さな子どもやお年寄りも数多く登城してくれるようになり、幅広い層の方が芳野城に関心をもつようになった。さらに、芳野城を守る会の会員も増え、城を守っていこうという気運も高まってきた。案内版等を設置したことにより、芳野城への地域住民の関心が高まってきた。宇陀三将の城でありながら芳野城の認知度はまだまだ低いので登山道の整備を行い安全に溺れる城にしてアピールしていきたい。

事業実施団体

名 称	芳野城を守る会
所在地	宇陀市菟田野下芳野1228-2
設立の経緯・目的	宇陀三将のイベント以降、芳野氏や芳野城のことを尋ねられることが多くなった。しかし、地域住民は、尋ねられても芳野氏や芳野城のことを知らないのが現状である。 そこで芳野氏や芳野城を多くの人に知ってもらうために、芳野城を整備し、案内板を設置したいと考えた。そして、「芳野城を守る会」を立ち上げ、芳野地域の活性化につながることを切望した。
主な活動内容	・芳野氏や芳野城に関する学習会の開催。 ・芳野城の案内板の設置。 ・芳野城への道の整備、草刈り。 ・芳野城頂上付近の整備。 ・芳野地域の歴史や史跡を知る取組の実施。